

悠 久 の 歴 史 と あ く な き 創 造



色絵松竹梅文大壺
有田(伊万里) 江戸時代前期
大和文華館蔵



青磁石講文壺
七代徳光山善兵衛作
大正時代 個人蔵

日本 の やきもの

「特別企画展」

— 縄文土器から近代京焼まで —

The Pottery of Japan:
From Jomon Earthenware to
Modern Kyo Ware



灰釉壺常滑
鎌倉時代
大和文華館蔵



縄文大壺
縄文時代中期
大和文華館蔵

2022 1/5 (水) — 2/13 (日)

特別講演

●2月6日(日)午後2時・講堂
「京焼って何?これを知っていれば京焼マスター」
京都女子大学准教授 前崎 信也 氏

日曜美術講座

●1月30日(日)午後2時・講堂
「京焼を彩る琳派の意匠」 当館学芸部課長 宮崎 もも

列品解説

●毎週土曜日 午後2時 当館学芸部による
※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、スライドによる
展覧会解説となる場合があります。

●休館日/毎週月曜日(ただし、1月10日(祝)は開館し、11日(火)が休館) ●開館
時間/午前10時~午後5時(入館は午後4時まで) ●入館料/一般630円/高校・大
学生420円/小学・中学生無料 ※20名以上の団体は相当料金の2割引で引率者1名
無料 ※「障がい者手帳」をお持ちの方とご同伴者1名2割

大和文華館

THE MUSEUM YAMATO BUNKAKAN

奈良
学園前

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6 TEL.(0742)45-0544

「特別企画展」

The Pottery of Japan: From Jomon Earthenware to Modern Kyo Ware

日本のやきもの

— 縄文土器から近代京焼まで —

日本のやきもの歴史は、縄文土器より始まります。土器の時代が長く続いた後、古墳時代にはろくろ成形し還元焼成する須恵器が、奈良時代には人工的に釉薬をかける施釉陶が登場します。中世には、素朴な焼締陶が多く作られ、日常の雑器として広く用いられました。桃山時代には、茶の湯の隆盛とともに、斬新な茶陶が盛んに作られ、やきもの世界が活性化します。江戸時代には、まず有田において磁器の焼成に成功し、日本各地で様々な陶磁器が生産されました。特に京焼では、江戸時代前期、野々村仁清によって陶器に上絵具で絵付けする色絵陶器の技術が大成されます。多くの典雅な色絵陶器が作られるとともに、江戸時代後期には磁器の焼成も可能になり、文人趣味的な清雅な器も好まれました。明治維新後には衰退の危機もありましたが、技術やデザインを磨いて進化し、多様な魅力を持つ近代京焼の作品が生み出されました。

本展観では、館蔵の縄文時代から江戸時代までのやきものと、特別出陳の近代京焼を展示します。日本のやきもの悠久の歴史とあくなき創造にご注目ください。



土偶立像 大和文華館蔵

縄文時代



桃山時代

黒織部沓茶碗 美濃 大和文華館蔵



重要文化財 伊万里 有田伊万里 大和文華館蔵

江戸時代

We will be displaying the pottery of Japan, which boasts a history as long as ten thousand years. We invite you to enjoy the colorful variety of works, from the strong shapes of the Jomon earthenware made in the primitive age to the elaborate Kyo ware made in the modern era.



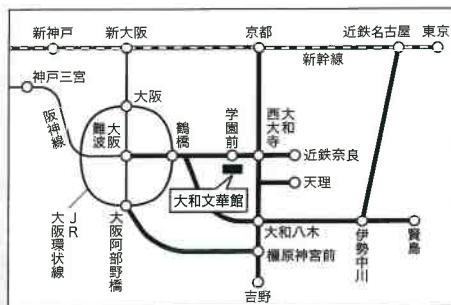
大正時代

色絵柳橋文菓子器 初代伊東陶山作 個人蔵



色絵おしどり香合 野々村仁清作 大和文華館蔵

江戸時代



近鉄・奈良線(学園前駅)下車、南出口より徒歩約7分、無料駐車場あり

大和文華館

THE MUSEUM YAMATO BUNKAKAN

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6
TEL (0742) 45-0544 FAX (0742) 49-2929

大和文華館

検索



@yamatobunkakan